

校長室から

第19号

本校の開校はいつなのか？ ～その2～

記念誌の「五十周年に寄せて」北見市美芳町政井三郎の抜粋です。
「昭和九年の秋「明治四十二年に堀立小屋の教育所、児童僅かに十名で、今や兄弟四百名、足並み揃えて進みゆく、開校ここに二十五年」と歌い乍ら瀬戸牛の市街を日の丸の旗を振って歩いたことを思い出します。（実は開校は明治四十一年が正当であることが記念式後の古老や有志の座談会で実証されたので、沿革誌を修正しました）」

西興部小学校の「開校は明治四十一年が正当である」ことが証明できれば、先の2つの疑問、第二教育所が第一教育所より先に開校していること、第一教育所が設置から開校まで1年以上を要していること、も解決できるはずです。

政井三郎氏は本校の歴史を語る上でのキーパーソンの一人です。

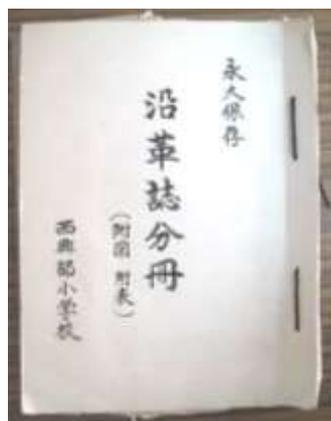
政井氏は、1926（大正15）年8月31日から1938（昭和13）年3月31日まで11年7ヶ月の永きにわたり、本校の第5代校長として在職していました。この間に本校の校歌を自ら作詞し、文部省の認可を受け制定しました。1934（昭和9）年10月29日には開校25周年記念式を挙行し、1936（昭和11）年3月22日『瀬戸牛學報第拾五號 特輯二十五周年記念記事』（以下「『學報』」）を発行しています。

『學報』は『沿革史分冊（附図・附表）』（以下、『分冊』）の中に綴られていました。『分冊』の前半は「大正十三年増築落成當時ノ現況」や「瀬戸牛小學校通學区域圖」などの平面図や地図です。そして『學報』、次に「瀬戸牛小學校建築費寄附帳昭和十四年」、『西興部小学校五十周年西興部中学校十周年開校記念誌』の順で綴られています。

『學報』の表紙の右上には「※当校校長小山菊雄先生が開校五十周年記念行事を実施するにあたり開校二十五周年記念誌が当校に保存されていない為元当校校長政井三郎先生にお願いして当校保存に一部御恵贈承ったものである」とメモされており、右下には34. 6. 9の日付の受付印が押印されています。これらのことから『學報』は、第11代校長小山菊雄氏（1959（昭和34）年5月1日～1964（昭和39）年3月31日）の手によって1959（昭和34）年6月に20数年ぶりに日の目を見たこととなります。そして、本校沿革の資料として『分冊』に綴られたと考えられます。『學報』からは様々な情報を得ることができます。その中の「記念式後の古老や有志の座談会」について転載します。



第5代
政井三郎



『分冊』



『學報』

学校の歴史を語る座談會

日時 昭和十年二月十六日

場所 瀬戸牛小学校

出席者 村会議員 義達貞太郎氏

保護者會副会長 川勝庄太郎氏

全 酒井常次郎氏

開校当時の学校建築委員 石田卯之助氏

瀬戸牛局長 樋口湜氏

学務委員 天倉富氏

開校当時の児童 目黒竹雄氏

瀬戸牛小学校長 政井三郎氏